



Lesson 7-1 プロジェクター接続準備

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

【プロジェクターやモニターへの接続準備を解説します】

①プロジェクターが対応している接続方法を確認します



②裏面で接続端子を確認します

① プロジェクター側の接続端子と名称です



② VGA接続



③ HDMI接続

【参考情報】：プロジェクターが「VGA接続」と「HDMI接続」  
両方対応の場合には、HDMI接続がオススメです

①接続方法に合わせて使用するケーブルを用意します

【VGA接続の場合】



②VGAケーブル（別名：D-Sub 15ピンケーブル）

【購入案内】 Amazonで「VGAケーブル」で検索  
参考価格：5mケーブル ¥1500～

①接続方法に合わせて使用するケーブルを用意します

【HDMI接続の場合】



②HDMIケーブル

【購入案内】 Amazonで「HDMIケーブル」で検索  
参考価格：5mケーブル ¥1500～

## 【MacBook側の接続方法を解説します】

①Mac側は【Thunderbolt（サンダーボルト）】を使用します



②【Thunderbolt（サンダーボルト）】からケーブルを接続する為に【ディスプレイ変換ポート】を用意します



## 【VGA接続の場合】

### ① 【Mini DisplayPort - VGAアダプタ】



【購入案内】 Amazonで「mini Displayport VGA」で検索  
又は、Apple online Store。参考価格：¥3,000～

## 【HDMI接続の場合】

### ① 【Mini DisplayPort - HDMIアダプタ】



【購入案内】 Amazonで「mini Displayport HDMI」で検索  
又は、Apple online Store。参考価格：¥3,500～

# 【プロジェクター接続に必要な部品一覧】

## ② 【ディスプレイ変換ポート】



## ④ 【プロジェクター】 or 【モニター (TV) 】



## ① 【MacBook】



## ③ 【ケーブル】



この Mac について  
ソフトウェア・アップデート...  
App Store...

システム環境設定...

Dock

最近使った項目

Finder を強制終了

スリープ

再起動...

システム終了...

USB\_mac をログアウト... 合鍵Q

① プロジェクターを接続する前に  
Mac側の設定を確認しておきましょう

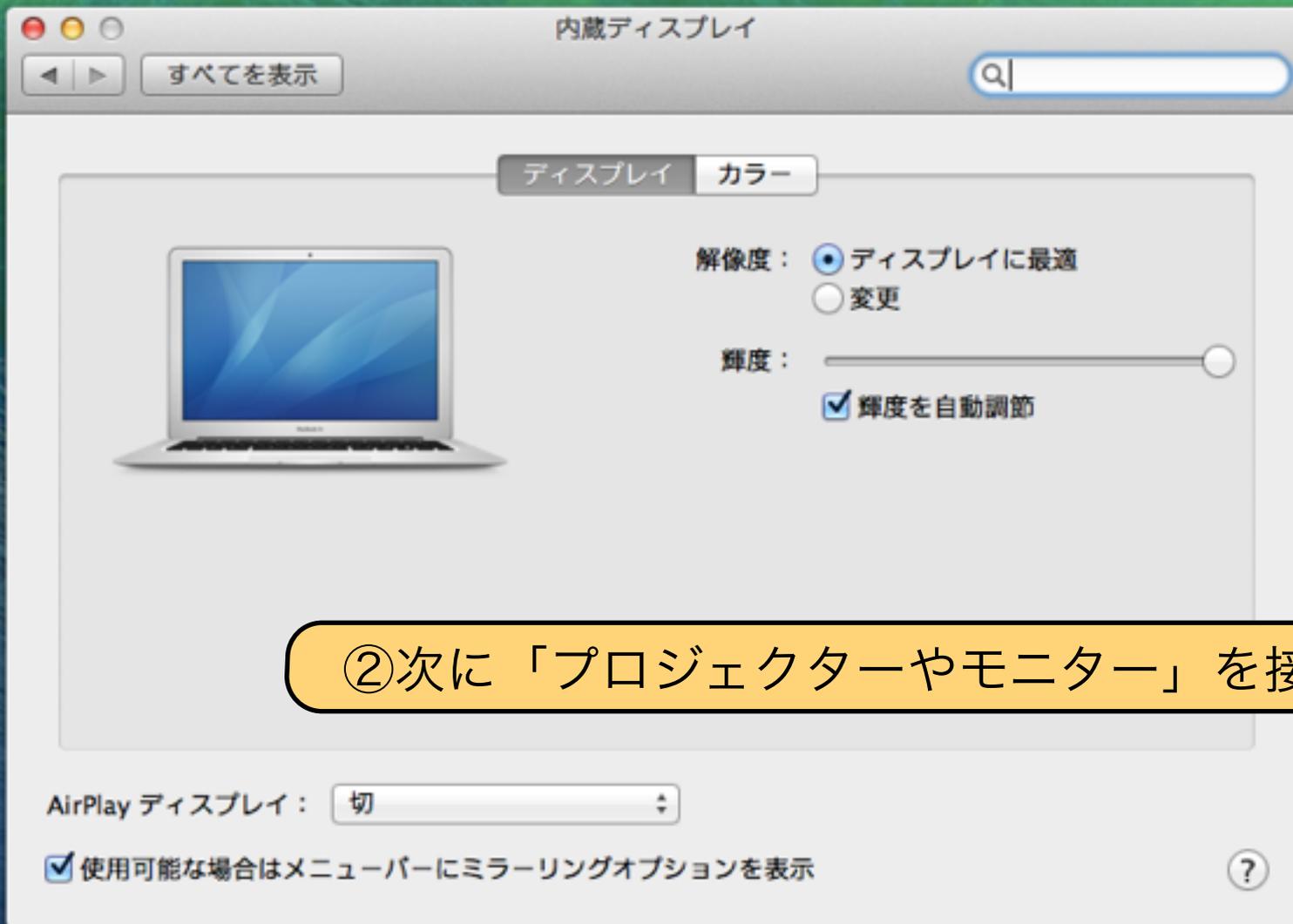
② 画面左上【】 — 【システム環境設定】  
をクリックします

①システム環境設定ウィンドウ  
が表示されました



②【ディスプレイ】をクリックします

# ①ディスプレイ設定ウィンドウが表示されました



# ②次に「プロジェクターやモニター」を接続します

## ① 【接続前】

ディスプレイ カラー

② プロジェクターやモニターが  
接続されると【配置】が  
追加表示されます

## ③ 【接続後】

ディスプレイ 配置 カラー

解像度：  ディスプレイに最適  
 変更

輝度：

輝度を自動調節

① プロジェクターやモニター側には  
【TV】 設定ウィンドウが表示されました



② 「プロジェクターやモニター」を接続するだけで  
Macは自動的に認識します

## 【プロジェクターやモニターを認識しない場合】

### 【原因①】

プロジェクターやモニターの電源は入っていますか？

### 【解決①】

ケーブルを接続しても、電源が入っていないと認識しませんので、プロジェクターの電源を確認します。

### 【原因②】

ケーブルが、しっかりと奥まで差し込まれていますか？

### 【解決②】

ケーブルの接続に問題がない場合には、ケーブルを交換してみましょう。長いHDMIケーブルは要注意です。

① 「プロジェクターやモニター」の接続が確認できましたら  
次回のレッスンで、プロジェクター表示設定を解説します



## 【プレゼンテーションの準備】



会場を借りてプレゼンテーションを行う場合。  
プロジェクター等の接続環境とネット環境、  
更に画面比率が【4：3】 【16：9】を確認して  
準備をすすめてみましょう。



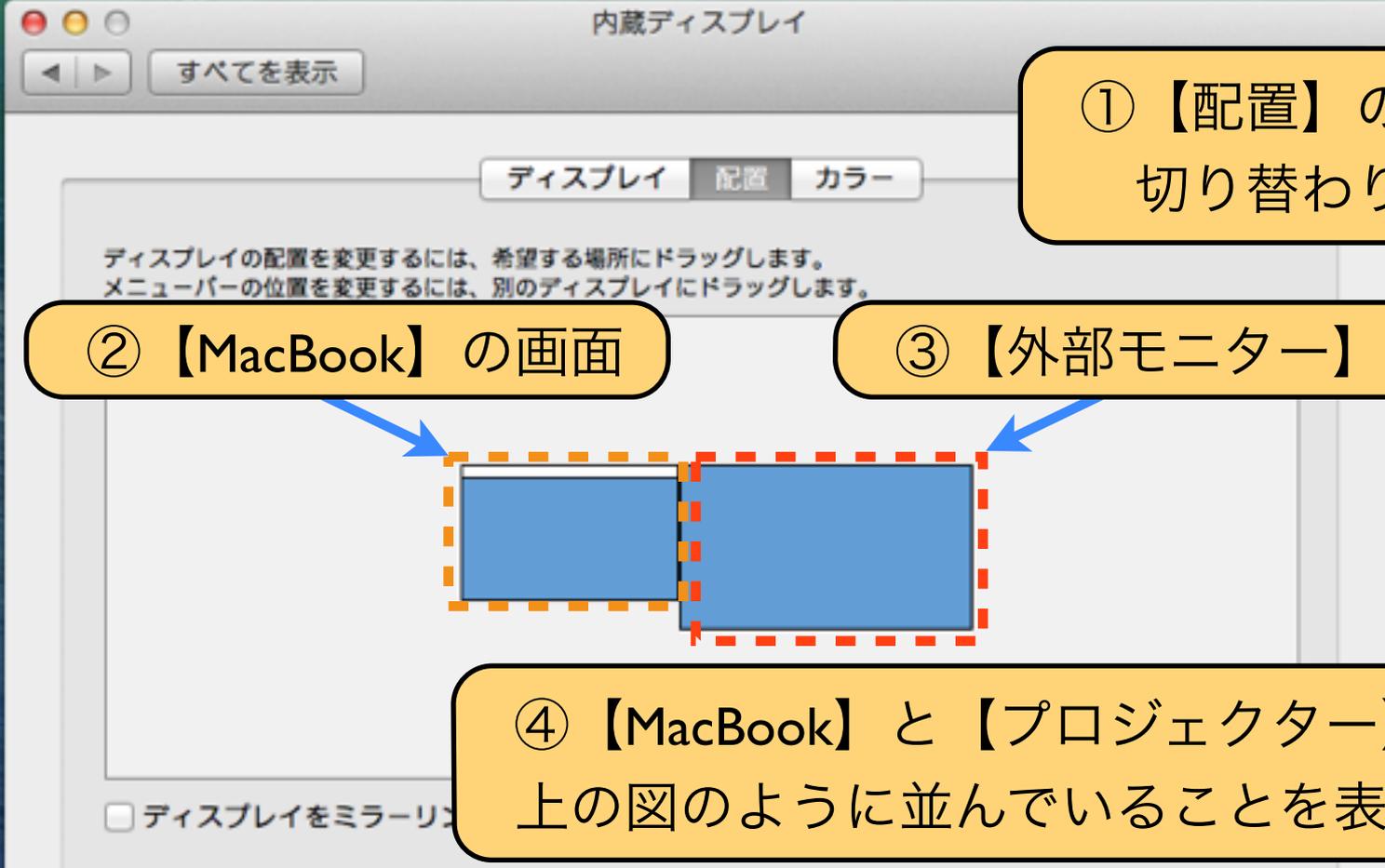
Lesson 7-2 プロジェクター表示設定

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

【前回に続き、プロジェクターの表示設定を解説します】

① システム環境設定から「ディスプレイ」を表示します





① 【配置】の画面に切り替わりました

② 【MacBook】の画面

③ 【外部モニター】の画面

④ 【MacBook】と【プロジェクター】が上の図のように並んでいることを表しています

【予備知識】 外部モニターの画面表示は高解像度では大きく低解像度では小さく表示されます。今回は1080iモニターを使用。

すべてを表示

**【もし画面が重なって表示された場合】**

ディスプレイ 配置 カラー

ディスプレイの配置を変更するには、希望する場所にドラッグします。  
メニューバーの位置を変更するには、別のディスプレイにドラッグします。

**【原因と解説】**

「配置」の設定で画面が重なっている原因は「ミラーリング」設定になっているからです。

**【解決】**

チェックマークを外すと二つの画面に分割されます

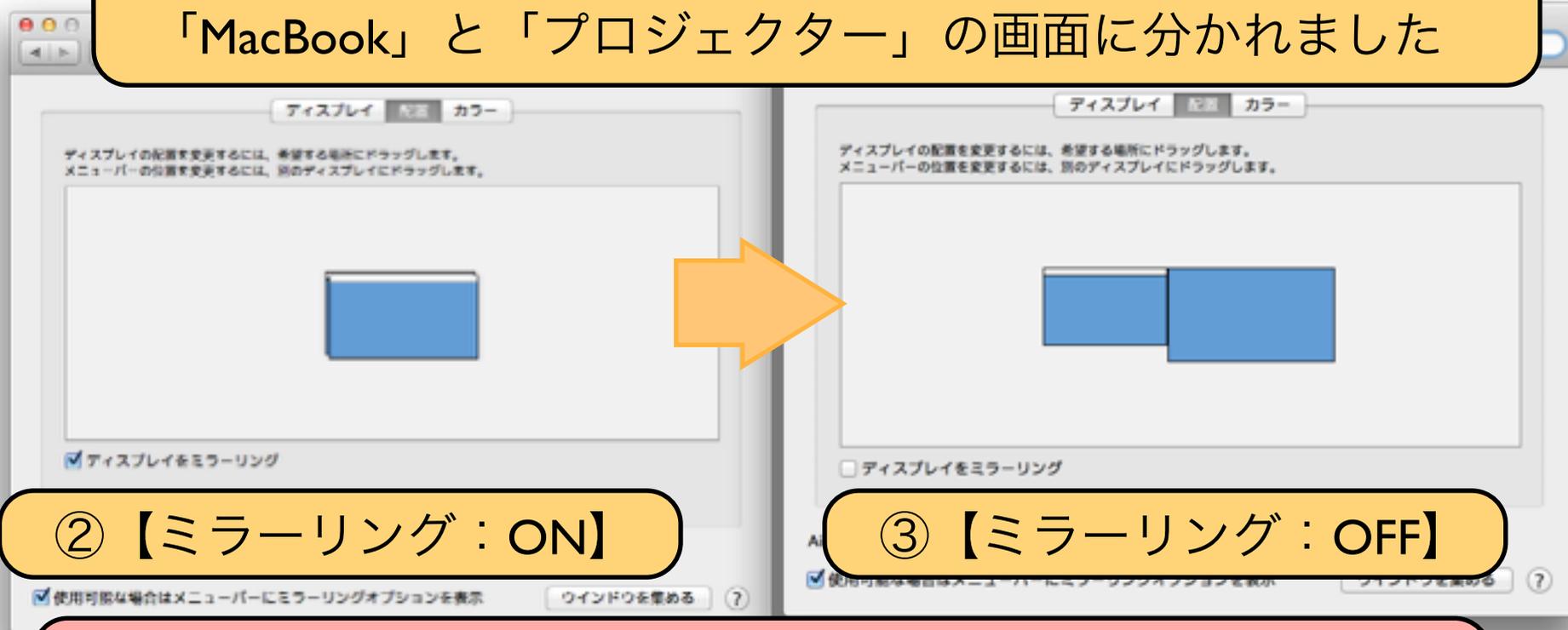
 ディスプレイをミラーリング

① **【ディスプレイをミラーリング】**  
のチェックを外す

ウインドウを集める



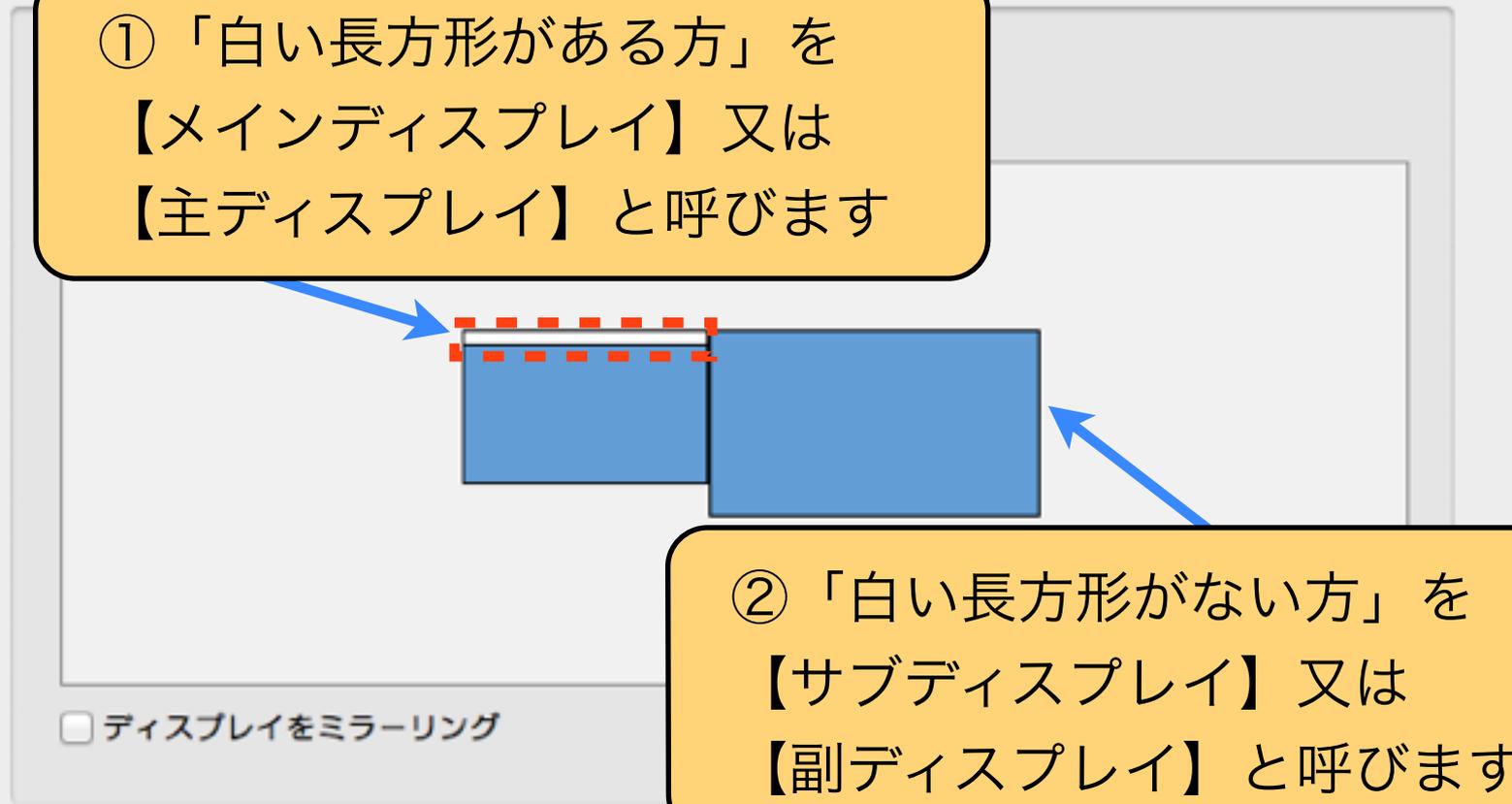
① 【ディスプレイをミラーリング】のチェックを外すと「MacBook」と「プロジェクター」の画面に分かれました



【用語解説】 「ミラーリング」とは？

Macの操作画面が、外部モニターにも同じように表示され2つのディスプレイに全く同じ画面が表示される設定です。

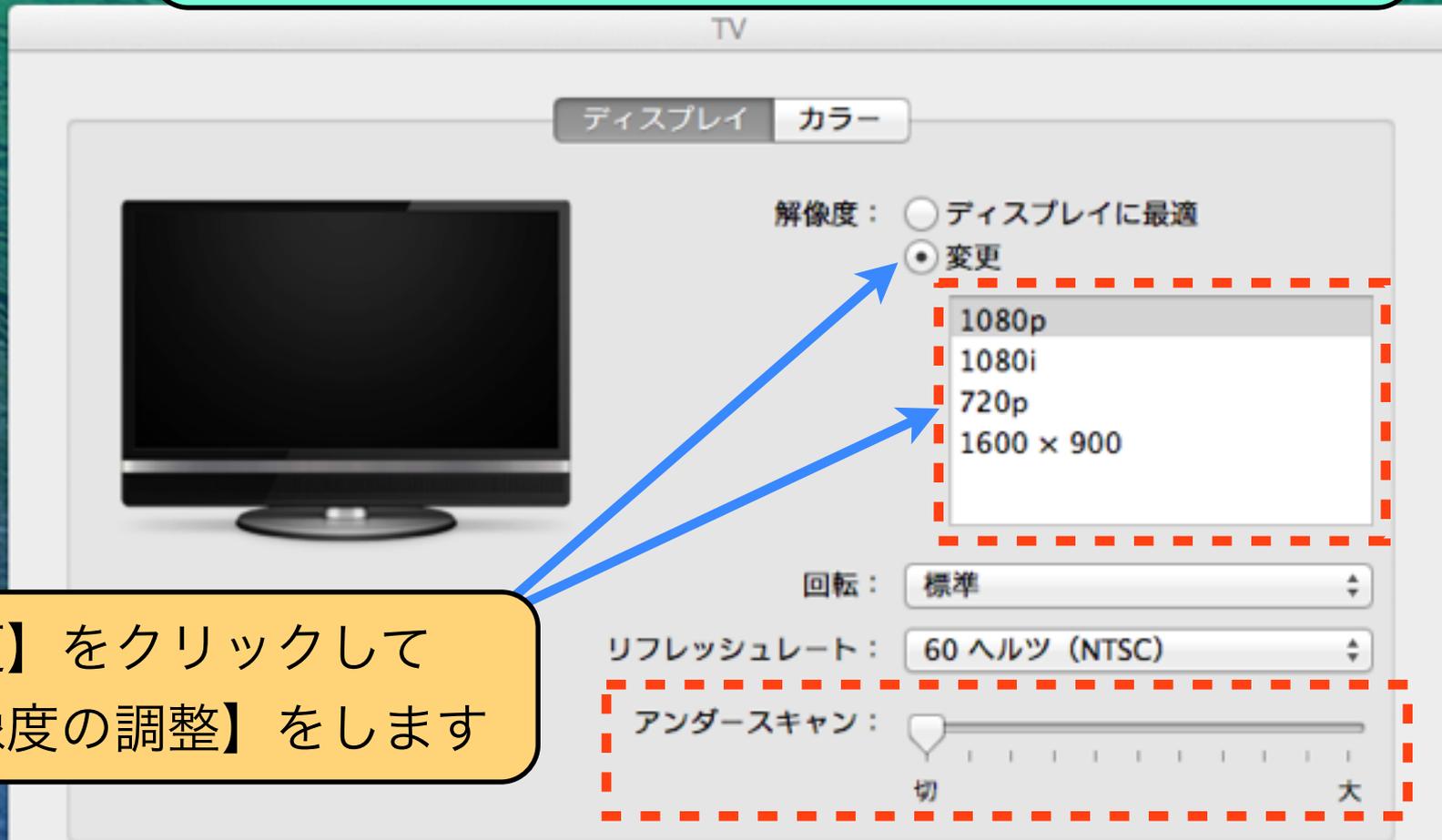
① 「白い長方形がある方」を  
【メインディスプレイ】又は  
【主ディスプレイ】と呼びます



② 「白い長方形がない方」を  
【サブディスプレイ】又は  
【副ディスプレイ】と呼びます

【予備知識】 「白い長方形」をドラッグして外部モニターを  
メインディスプレイに切り替えることも可能です

## 【プロジェクター（外部モニター）の設定】

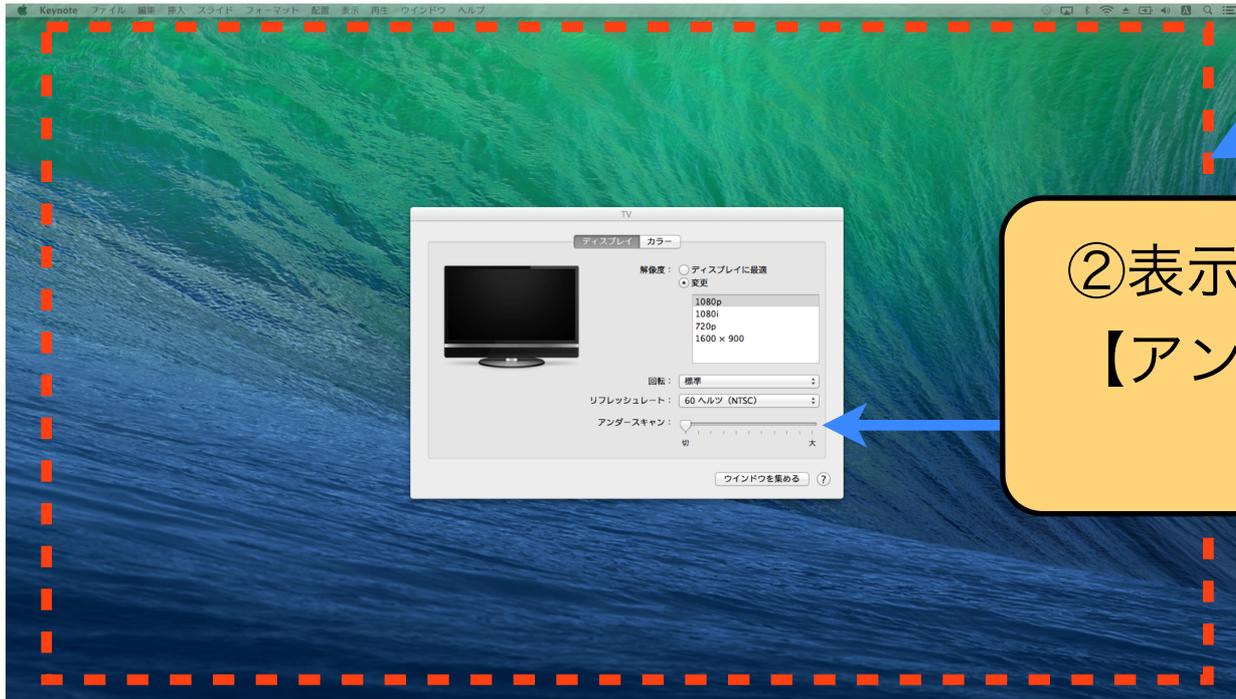


① 【変更】をクリックして  
【解像度の調整】をします

② 【アンダースキャン】で画面サイズの微調整をします

## 【表示領域に収まるように微調整】

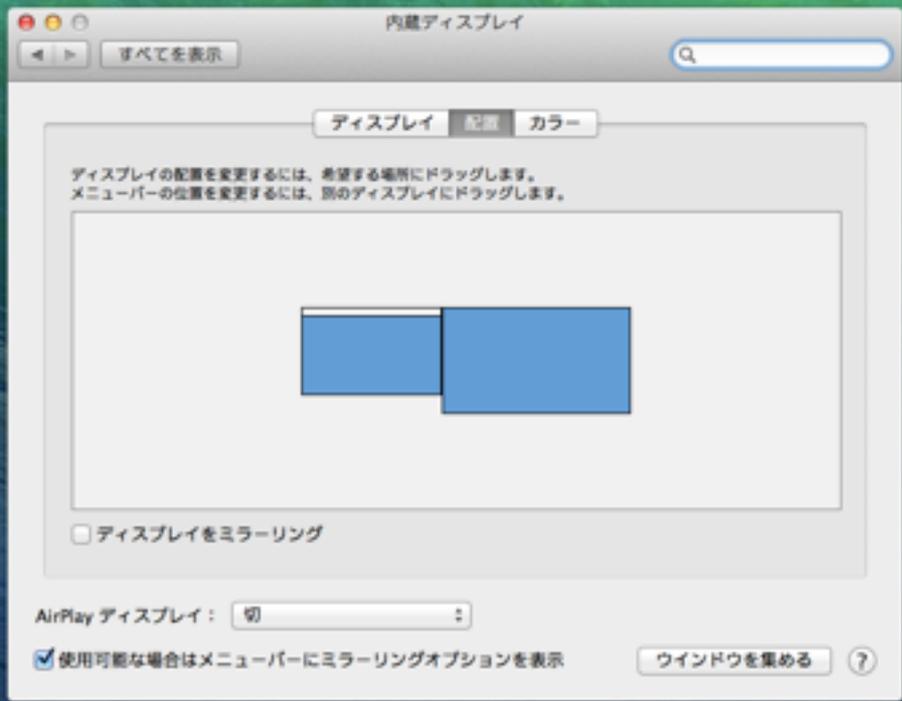
## ① モニターの表示領域



② 表示領域に収まるように  
【アンダースキャン】で  
微調整します

## 【用語解説】 「アンダースキャン」とは？

モニター表示領域から、パソコン画面がはみ出している場合に画面を小さく表示してモニター内に隅々まで表示する機能です



① プロジェクター（外部モニター）の設定は完了です

② 次のレッスンで、スライドの再生手順を解説します

## 【iPhoneアプリのKeynote Remote】



iPhoneでKeynoteのスライド操作ができるアプリ。

「Keynote Remote」というiPhone用アプリが  
Appleから提供されています。

リモコン操作したい方には、オススメです。



Lesson 7-3 プレゼンテーション再生

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

前回、プロジェクターの接続方法を解説しました。  
【今回は、プレゼンテーション再生について解説します】

実践トレーニング

Apple Keynote

①作成済みのKeynoteファイルを用意します



表示 100% 拡大/縮小

表 グラフ テキスト 図形 メディア



① 【再生】 をクリックします

スライド

1 実践トレーニング

2

3

4

# 実践トレーニング

## お客様側【プロジェクター画面】

①プロジェクター（外部モニター）でスライドが再生されます

# 実践トレーニング

---

Apple Keynote

## 自分側の【MacBook画面】



① 【表示項目の詳細設定】はコチラをクリック

現在のスライド: 1/6

次のスライド: 2/6

実践トレーニング

Apple Keynote

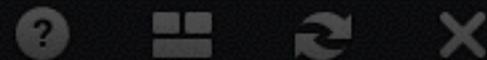
Keynote-study.com

Keynoteの使い方は理解できたけど・・・



実際にスライド作成に取り掛かると  
作業が進まなくて困っています  
どうしたらいいのだろう？

0:00



ビルド残り: 1

- 現在のスライド
- 次のスライド
- 発表者ノート
- 時計
- タイマー  経過  残り 00:00

①表示させたい項目にチェックを入れます

実践トレーニング

Apple Keynote

①チェック項目の  
表示が追加されました

00:00:00

②タイマー（経過時間）

現在のスライド: 1/6

次のスライド: 2/6

■ 時計  
 タイマー  経過  残り 00:00

実践トレーニング

Apple Keynote

Keynote-study.com

Keynoteの使い方は理解できたけど・・・



実際にスライド作成に取り掛かると  
作業が進まなくて困っています  
どうしたらいいのだろう？

③発表者ノート

発表者ノート

(挨拶)

これから、実際にKeynoteでスライドを作る際のポイントを解説していきます。

- ✓ 現在のスライド
- ✓ 次のスライド
- ✓ 発表者ノート

### ①現在のスライド



### ②次のスライド



### ③「スペースキー」で次のスライドへ進みます

(挨拶)

これから、実際に

### ④「ESCキー」で終了します



①スライド編集画面へ戻りました

②プレゼンテーションは終了です

(挨拶)

これから、実際にKeynoteでスライドを作る際のポイントを解説していきます。

## 【プレゼンテーション時間の割り振り】



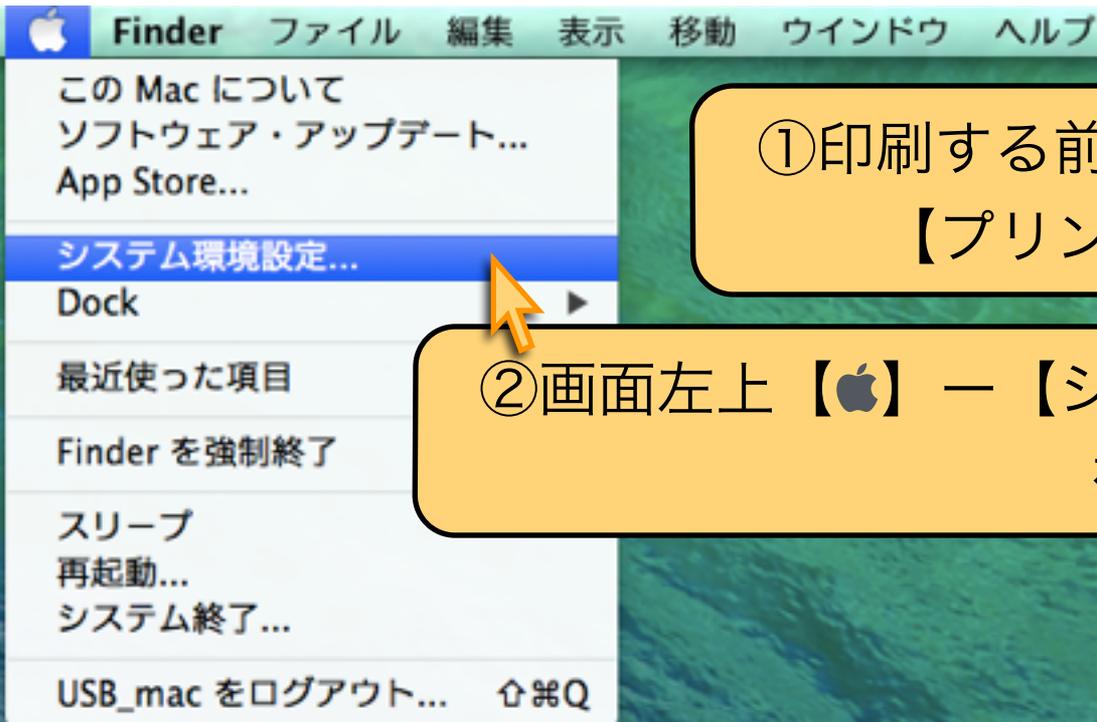
プレゼンテーションの練習をする際に、  
発表者メモに「経過時間の目安」を記入すると、  
スライドと時間の割り振りに役立ちます。  
発表者メモは、大きな文字が見やすいです。



Lesson 7-4 印刷・プリントアウト

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

## 【接続プリンタの確認方法】



①印刷する前に、接続されている  
【プリンター】を確認します

②画面左上【】 — 【システム環境設定】  
をクリックします



① システム環境設定ウィンドウ  
が表示されました

② 【プリンタとスキャナ】を  
クリックします

プリンタとスキャナ

すべてを表示

①接続されている「プリンター」です

プリンタ

EPSON PX-434A  
● 待機中 最後に使用

プリント スキャン

EPSON PX-434A

プリントキューを開く...

オプションとサプライ...

場所：  
種類： EPSON PX-434A  
状況： 待機中

ネットワークでこのプリンターを使用する

デフォルトのプリンタ： 最後に使用したプリンタ

デフォルトの用紙サイズ： A4

②プリンターの接続を確認したら  
閉じてKeynoteに戻ります

すべてを表示



①何も表示されない場合は  
プリンターを先に設定をして下さい

利用できるプリンタがありません  
プリンタを設定するには、追加  
(+) をクリックします。

【注意】プリンターは「+」からと付属  
「CD」インストールの二種類あります。  
プリンター説明書を確認しましょう。



デフォルトのプリンタ： 最後に使用したプリンタ

デフォルトの用紙サイズ： A4



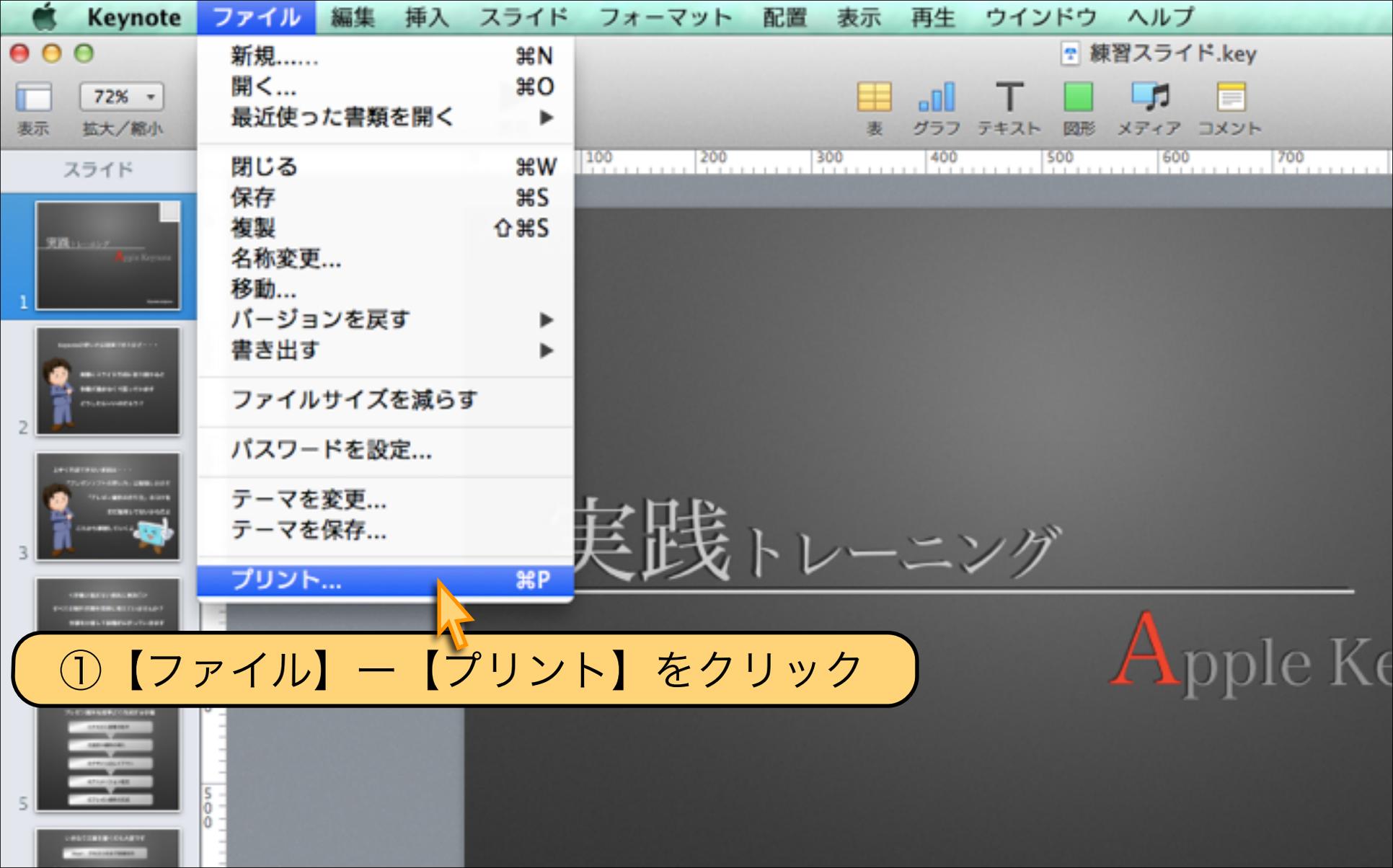


# 【Keynote資料の印刷方法】

①印刷するスライドを用意しました

## 実践トレーニング

## Apple Keynote



- 新規..... ⌘N
- 開く... ⌘O
- 最近使った書類を開く ▶
- 閉じる ⌘W
- 保存 ⌘S
- 複製 ⇧⌘S
- 名称変更...
- 移動...
- バージョンを戻す ▶
- 書き出す ▶
- ファイルサイズを減らす
- パスワードを設定...
- テーマを変更...
- テーマを保存...

プリント... ⌘P

① 【ファイル】 - 【プリント】 をクリック

プリンタ： EPSON PX-434A

部数： 1

ページ： すべて

① プリント設定ウィンドウ  
が表示されました

実践トレーニング

Apple Keynote

② 【詳細を表示】 をクリック

1/6



PDF

詳細を表示

キャンセル

プリント



①プリントの【詳細設定ウィンドウ】に切り替わりました

①印刷レイアウトを選択

プリンタ： EPSON PX-434A

プリセット： デフォルト設定

部数： 1

ページ：  すべて

開始： 1 終了： 1

選択部分

Keynote

②クリック



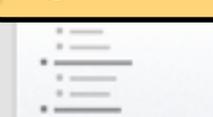
スライド



グリッド



配布資料



アウトライン

スライドレイアウト：

- ページ余白を使用
- 発表者ノートを含める
- スライド番号を含める
- 名前と日付を含める

オプション：

- スライドの背景をプリント
- ビルドの各段階をプリント
- スキップしたスライドを含める

PDF ▾

詳細を隠す

キャンセル

プリント

①メニュー選択画面が  
表示されました

②設定したい項目を  
選択して設定して下さい

プリンタ： EPSON PX-434A  
プリセット： デフォルト設定

部数： 1

ページ：  すべて

開始： 1 終了： 1

選択部分

✓ Keynote

ページ属性

レイアウト

カラー・マッチング

用紙処理

表紙

印刷設定

カラーオプション

プリンタの機能

サプライのレベル

スライドレイアウト

ページ余白

発表者ノート

スライド番号を含める

名前と日付を含める

プリント

プリント

スキップしたスライドを含める

PDF ▾

詳細を隠す

キャンセル

プリント

# ①印刷部数と範囲を設定

プリンタ： EPSON PX-434A

プリセット： デフォルト設定

部数： 1

ページ： すべて  
 開始： 1 終了： 1  
 選択部分

Keynote

実践トレーニング

Apple Keynote

keynote-study.com



スライド



グリッド



配布資料



アウトライン

# ②必要な項目に チェックします

スライドレイアウト：

- ページ余白を使用
- 発表者ノートを含める
- スライド番号を含める
- 名前と日付を含める

オプション：

- スライドの背景をプリント
- ビルドの各段階をプリント
- スキップしたスライドを含める

# ③【プリント】をクリックして印刷します

PDF

キャンセル

プリント



①印刷物を確認して完了です

実践トレーニング

Apple Keynote

Keynote-study.com

## 【わざと印刷しないテクニック】



配布資料に全ての内容が印刷されていると、  
ネタバレしてプレゼンを聴く意欲が下がります。  
配布する場合にはタイミングとバランスを考え、  
プレゼンに集中させるのもテクニックです。